



新時代に向けて

徳島県身体障害者連合会

理事長 林 徳太郎



昨年は、3月に徳島県手話言語条例が制定され、さらに、11月には日本で初めての開催となる東京2025デフリンピックが開催されるなど、障害及び障害のある人に対する理解と関心が更に広がり深まる契機となりました。

県身連では、人口減少や少子高齢社会が進むなか、今後においても継続的な活動を行い、課題検討するため設けた将来構

想検討委員会の答申に基づき、理事の定数6名以上8名以下を8名以上10名以下に、評議員の定数7名以上12名以下を11名以上13名以下に改める組織改革を行い、役員等の選出についても、東部、南部、西部各ブロックで代表者による会議を開き、話し合いで決定いただきました。増加傾向にある内部障害者の組織化については、県身連で初めてとなる懇談会等を開催し、課題について意見交換をするとともに、県身連の役員等についても、理事1名、評議員2名を割り当て、新たに役員等を選出いただきました。

また、昨年私は、徳島県肢体障害者協会の会長に就任し、県身連と同様に、当協会が益々発展・活性化されるよう、早速、組織や運営を見直ししました。さらに、連合会組織

を持たない内部障害者も肢体障害者と共に手を取り合い一緒に参加できるような活動の間口を広げました。更なる会の運営力の増強が図られることを期待しております。

11月に開催しました令和7年度徳島県身体障害者相談員研修では、相談員同士が顔を合わせて話し合い、発表をするという初めての企画を私がコーディネーターを務め実施しました。相談員活動の意義の再認識に繋がればと願っております。さらに、障害者週間に記念して開催したふれあいボウリング大会や、兵庫県立広域防災センターを訪れたふれあい視察研修では、障害種別や市町村会を越えた参加者同士の交流が更に深まるいい契機となりました。

2月7日には、徳島県肢体不自由児協会から、事業協力に対するものとして感謝状をいただき、さらに、新しく整備しました小星園の新施設が、3月10日、「令和7年度とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞」

に選ばれ、知事表彰を受賞したところです。

眉山園では、利用者として職員が一丸となり、障害者の就労支援の取り組みを推進しており、運営するベーカーリーが10月に民報報道を受けたことや、イベント等での積極的な販売促進が功を奏し、昨秋以降、売り上げが40%も伸びました。両施設共々、利用者にご満足いただける施設であるとともに、エンゲージメント経営を推進するなど、職員の働きがいを高め、持続的な成長へとつなげてまいります。

仙台市で6月に開催されます第71回日本身体障害者福祉大会さんだいで大会では、都道府県・市町村組織などの活性化をテーマに開催される意見交換会があり、これまでの取り組みについて事例発表を行うこととしていきます。様々な課題が山積するなか、当連合会も障害種別団体・市町村会共々、新時代に向かって一層交流を深め、力を併せて邁進していこうではありませんか。

受賞の喜び

徳島県身体障害者連合会

業務執行理事

佐那河内村身体障がい者会

会長 伊藤 博美



この度、令和7年度障害者自立更生等厚生労働大臣表彰受賞の榮譽にあずかり、これまでお世話になった方々への感謝の念でいっぱいです。私は59歳の時に脳卒中で身動きの取れない身体となりました。絶望の中にいた私が、関係者の励ましと手助けを受け再び歩けるようになった時、その喜びとともに、これからは少しずつでも恩返しをしていきたいと決意しました。回復後、佐那河内村身体障がい者会会長のお話をいただき、これまでの経験を活かしながら、障害を持つ人も持たない人も暮らしやすい地域となるようお役に立てることをやってい

きたいと思いました。手始めに、リハビリを兼ねて、やさしい色鉛筆絵画や陶芸の教室に通い始め、会の皆さんと村の行事に作品を出品し、恒例行事となり楽しみの一つが生まれました。それから、高齢化が進む村の生産者の生きがいづくりのため、特定非営利活動法人一村を設立し、自ら育てた農産物を共同で徳島市や関西方面にも出荷できるシステムとネットワークをつくりました。

さらに、地域の障害者がパラスポーツを楽しむ会活動を始め、村内だけでなく、野球や車いすソフトを通じて県内・県外の障害者と積極的に交流し仲間を増やしていきました。防災活動としては、助成金を活用し、集落の拠点となる場所に防災倉庫を設置し、備品を整備するなど、地域の皆さんと一緒に取り組んできました。

今後も根郷地区の住民の皆さんが顔なじみとなりお互いに頼りになるお隣さん同士をつくり、絆を深めていけるよう取り組みたいと思っております。

栄えある表彰
おめでとうございます

厚生労働大臣表彰

(令和7年12月12日)

障害者自立更生等

伊藤 博美 (佐那河内村)

日本身体障害者福祉大会
会長表彰

(令和7年6月12日)

身障福祉功労

平 光江 (勝浦町)

中・四国身体障害者福祉
大会大会長表彰

(令和7年11月7日)

身障福祉功労

井内 宏 (石井町)

織原 美重 (阿南市)

米谷 昇 (北島町)

全国社会福祉大会全社協
会長表彰

(令和7年11月12日)

民間団体功労

平 光江 (勝浦町)

徳島県社会福祉大会名誉
大会長表彰

(令和7年11月7日)

社会福祉事業功労(障害)
松島 雍子 (吉野川市)

知事表彰 (とくしま健康
福祉の集い)

(令和7年10月22日)

福祉功労

藪下 秀世 (美馬市)

下谷 純生 (北島町)

自立更生

野尻 許子 (徳島市)

山下 勲 (牟岐町)

徳島県身体障害者連合会
理事長表彰 (徳島県身体
障害者福祉大会)

(令和7年10月22日)

福祉功労

井内 宏 (石井町)

照原 邦美 (那賀町)

米谷 昇 (北島町)

高島 美津子 (北島町)

中野 一雄 (北島町)

吉田 忠義 (北島町)

佐伯 勉 (板野町)

清水 勝美 (板野町)

関本 和美 (板野町)

自立更生

田原 幸之 (牟岐町)

原田 健之 (牟岐町)

松本 洋子 (牟岐町)

感謝状

岡晴美・岡廣敷・岡早苗
(徳島市)

小倉 トキエ (徳島市)

香西 瑞枝 (美馬市)

藤野 忠信 (美馬市)

障害支援施設小星園

職員一同 (美馬市)

(順不同、敬称略)

落語講座

「お笑い福祉士講座」

徳島市身体障害者連合会
運営協議会委員

佐條 和美

「お笑い福祉士講座」の話
を聞いたとき、行ってみた
いなあとの思いと、どうい
う講座なんだろうとの思い
が交互に浮かんでしまし
た。でもなんでも体験して
みよう、前向きに挑戦しよ
うと決意し、講座への参加
を決めました。
師匠の笑福亭学光(がっ
こ)さんは参加者の人生を
聞き出す能力が抜群で、少
し話をしただけで内容を深
く、大きく膨らませて表現
してくださり、そのたびに
大きな笑いが起こります。
なるほど、そういう表現を

したらよくわかるなあと本
当に勉強になりました。ま
た毎回講座に参加するたび
に参加者のみなさんと仲良
くなって、講座が楽しみに
なりました。みなさん、い
ろいろな人生経験をされて
いて、その話に泣いたり、
笑ったり、感動したり。
講座に参加して、新聞や
何気なく見ていたテレビも、
いろいろな角度から物事を
見つめられるようになりま
した。これから「お笑い福
祉士」として、周りの皆さ
まに笑いを届けていきたいで
す。(徳島県福祉基金助成事業)



R7.9.12 ~全3回
落語講座

令和7年3月落成

小星園新施設見学

徳島市身体障害者連合会

新田 正明

美馬市脇町にある障害
者支援施設小星園に、徳
島県肢体障害者協会青年
部の研修で訪問しました。

上げます。ありがとうご
ざいました。



R7.11.15 小星園見学
体育館での「エイサー」公演

令和7年度

徳島県身体障害者相談員研修会

神山町身体障害者会
副会長 新居 榮二

11月27日午後県障がい者
交流プラザで県下の身体
障害者相談員が一堂に会
する研修会が開催されま
した。

園での昼食のあと、近
くの道の駅を見学し、再
び園に戻り、体育館で沖
繩の郷土芸能「エイサー」
の公演を堪能しました。
独特の太鼓の音と演舞に
感動し、1日を有意義に
過ごすことができました。

今回の研修会を計画、
遂行してくださった関係
者のみなさまに感謝申し

研修会での手話講座で
は、初めての手話を体験
しました。1度ではなか
なか覚えられそうにありま
せんが、身近なものや自
分の名前を手話でできて、
周りの人とも楽しく学ぶこ
とができました。藍住町
身体障害者会の賀治会長
の話も、他の身体障害者
会での活動を知ることがで

きて、参考になりました。特殊詐欺防止講座の話は、新聞でも詐欺被害をよく見るので、気をつけようと思いがから聞きました。相談員活動についての話し合いでは、グループ討議をした後、話し合ったことの発表がそれぞれありました。こうした話し合いは、とてもためになりました。知らない人同士でも相談員として話し合うので、話も弾みました。他の市町村の広報の仕方なども知ることができ、学ぶことが多かったです。今後またこのような話し合いがあればいいと思います。充実したあつという間の3時間でした。

また、弁護士相談が同日開催（午前）されていたので、法律相談を受けることができました。日頃、疑問に思っていることを弁護士に相談することができました。よい機会となりました。これからもこのような機会があるといいなと思いました。



令和7年度
障害者週間記念
ふれあいボウリング大会

R7.11.27
徳島県身体障害者相談員研修会

徳島県身体障害者連合会
評議員
鳴門市身体障害者連合会
事業計画役職 松田 さよ子

ふれあいボウリング大会には初めての参加だったので、会場に向かうまでずっと緊張していました。ですが仲間のろう者5名と一緒に参加できたことで、気持ちがとても楽になり、結果としてとても楽しい時間を過ごすことができました。

私は残念ながら入賞することはできませんでしたが、悔しさよりも楽しさのほうが大きかったです。また、一緒に参加した仲間の1人がなんと2

位に入賞し、とても嬉しそうにしている姿を見て、自分のことのように喜びを感じました。仲間の活躍を見ることで、次は自分も頑張りたいという気持ちになりました。

今回の参加を通して、仲間との絆も深まり、またぜひみんなで一緒に参加したいと思っています。楽しい企画を本当にありがとうございました。



R7.12.7
ふれあいボウリング大会

ふれあい視察研修
兵庫県立広域防災センター

徳島県身体障害者連合会
評議員
特定非営利活動法人
徳島県聴覚障害者福祉協会
理事 体育部長 尾澤 卓幸

2月2日、参加者26人で視察施設のある兵庫県三木市にバスで向かいました。目的地は兵庫県立広域防災センターです。災害時には兵庫県全域をカバーする広域防災拠点として機能するそうです。最初は消防署で施設紹介や建物で体験をするのだろうと思っていました。今回のふれあい研修では、陸上競技場のバックスタンプ下に設置された備蓄倉庫の見学をしました。とても幅広く広い倉庫に毛布や食料品、その他たくさんのお物資があり、大変驚きました。大規模災害発生時における広域防災拠点としての機能が十分に発揮できるよう、平時と災害時の組織体制を分けていることや、災害時にはここが消防と警察、自衛隊の活動拠点になると説明を受けました。先このから備蓄されていた毛布を送ったという説明もありました。

また、ヘリコプターの離着陸のために、この区域には地上に電線はなく、

なるほどなと思いました。災害時に使う簡易トイレの実物を見学できたのがとてもよかったです。

徳島県にも県立防災センターがありますが、しっかりとした連携が取れるように要望もしていきたいと思えました。日帰り見学でしたが、学びが多く、楽しく見学ができました。お世話になりました。



R8.2.2
ふれあい視察研修

ぐるりとくしま

上勝町身体障害者会

会長 太房 和敏

上勝町身体障害者会は昭和47年8月に結成され、昭和53年4月には会員数257名と町内で手帳をお持ちの方ほぼ全

員の加入があり、活動は盛んに行われていたと思われまます。

結成当時の上勝町の人口は3600人でしたが、現在では1300人を切っています。現在の手帳保有者数は100人程ですが、会員数は10人で、ご高齢の方が多く移動手段がないために、会や行事等への参加が難しくなっています。コロナ禍の後からは総会への欠席者が多くなり、今後の活動の継続が困難な状況です。

研修では、令和6年3月に海陽町でDMVを視察したのが最後になりました。

そんな中、昨年末に「ふれあいボウリング大会」へ上勝町から私と会員1名が参加しました。ボウリングは趣味で長く続けており、新しい交流もあり楽しく競技ができました。次の機会も楽しみにしております。

会員を増やす事は難しい時代であると感じておりますが、可能な範囲で活動していきたいと思っています。



R6.3月DMV視察

美波町身体障害者会

会長 藤田 恵

本会は、「会員がなかなか増えない」という切実な課題を抱えています。また、町内にある各障害者団体（手をつなぐ親の会、家族会）も同様な課題を抱えているのが現状です。このことから、ボランティアの皆さまのご協力をいただきながら、一緒に活動できる「ミニミニレクリエーション」を年1回開催し、笑顔で参加できる楽しいひとときを過ごしています。

また、海部郡では、郡内各町から3障がい団体が集い、企画から実

施まで、みんなで作り上げる「心のふれあい交流会」を開催しています。今年度は10周年を迎えました。3町対抗でまり入れや、ボウリングなどのレクリエーション、コロナ期間に中止していた芸能大会が復活し、カラオケや三味線の演奏で会場は盛り上がりました。今後、近隣3町のつながりをさらに大切に、町を越えた交流を通じて、「参加してよかった」と喜びあえる活動のお手伝いができればと思います。



心のふれあい交流会

私の宝物

エレキギター

三好市身体障害者会

副会長

徳島県身体障害者連合会

監事 岸本 和宏

私の宝物は、80年代のフエンダーUSAストラトキャスターというエレキギターです。小学生の頃から、イギリスやアメリカのロックが好きでした。いつしかエレキギターに興味を持つようになり、子どもが買えるような値段ではなく、入手するまでに長い時間を要しました。大学を卒業し、就職が決まってから、お金を貯めて、ようやく念願のギターを手に入れることができました。

それから今日まで休むことなく練習を続けています。年を重ねるにつれ、上達は難しくなってきましたが、ギターの音に独特の音色があつて、かっこいいと、若い人たちからよく言われます。長年、パートナーとしてがんばってくれたギターですが、私の体力低下とともに、出番が減ってきました（重いので）、家でゆっくり休んでいます。あきらめないこと、継続すること、人にはやさしくなど、

障がいとギターが生きていく上で大切なことを教えてくれました。かけがえのないものからものです。



フェスティバルにて



自画像

「無鑑査作家」になるということ

上板町身体障害者会 副会長 丸居 哲雄

第79回、県展で準特選を受賞しました。2回目の無鑑査出品が決定したのです。まだ無鑑査出品していないので確定していないのですが、事実上の招待作家に王手がかかったのです。こう書けば私に才能があると思うかもしれませんが、もちろん、ある程度の才能があるのがベースなのです。実は私は1種1級のポリオで、75歳です。両

手両足が悪いです。こう書けば、みなさんどう思いますか。私にとつて、才能の有無より、その他のことが大きいのです。作品は大きくなると賞は取りにくいという事実があります。私はF100号（162.1×130.3センチ）の作品を作っています。これだけの大きさを作る場所があるのは幸いです。これだけの大きさがあれば、真ん中に手が届きかねています。作品が完成すると、審査の会場まで持っていくかなければならないんですよ。全部済むと、その作品は収納しなければなりません。その場所が必要で、一番大変なのは、長く健康を保つということなんです。この専任は妻の力ネゴです。体に良いものを食べさせられました。でも、彼女は2次障害に襲われました。まず、布団から起き上がれなくなりしました。次は、風呂に入れなくなりしました。そして、畳の上

を這えなくなりました。私の場合は、体全体に痛みが走りました。次は、お尻におできができ、座れなくなりました。起きられなくなりました。起きられるようにして、風呂に入れないのを防ぐようにして、這えなければ他の方法を考え出す。私は、全身の痛みを止める。おできは消し去る。それを妻と2人で考えるのです。これらの1つでも駄目であれば、今の自分はいないのです。その壮絶な戦いの後に、私の立ち位置が決まるのです。そして、その戦いは今も続いているのです。明日は、どうなるかわからない、それが今の私たちです。皆さん、大変だと思いませんか。ちなみに今のところ、外部から身体介護は入っていません。



受賞作品 「ダンスのレッスン」と

【会員団体のうごき】

◆「徳島盲ろう者友の会」が県身連の会員団体に新たに加入しました。

盲ろう者を
知ってください

徳島盲ろう者友の会

会長 大西 幸子

徳島盲ろう者友の会は、故近藤孝直氏（盲ろう者）が平成12年に設立しました。その頃、私の家にも来て下さり入会を決め25年が経ちました。現在は会員82名（内盲ろう者12名）で活動中。亡くなった盲ろう者の先輩も多いです。

盲ろう者は目と耳の両方に障がいがあります。しゃべれない人もいます。ヘレンケラーさんが有名ですね。「情報入手」「コミュニケーション」「移動」が1人では出来ないのです。家に引きこもって悩み苦しんでいる仲間も多くいます。また通訳・介助員と一緒に裁縫をしてワンピースを作ったり、畑で野菜を

育てたり、ダンスをしたり、器用な人もたくさんいます。

盲ろう者が家から一歩出て、ストレスを解消して楽しめるように交流しています。これからどうぞよろしくお願い致します。



徳島盲ろう者友の会
新年会

◆名称変更について

4月1日付で、「徳島県肢体障害者協会」が「徳島県肢体障害者連合会」に名称変更しました。

賛助会員制度への支援
ありがとうございます

賛助会員制度につきましては、多くの皆さまに温かいご支援をいただき、感謝申し上げます。

賛助会員の皆さまの継続的なご支援のおかげで安定

した活動を推進していくことができません。

今後とも、共生社会の実現を目指し、健全な運営に努めてまいりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和7年度にご賛同いただいた皆さま（順不同）

- 佐條 秀明様
- 佐條 和美様
- 賀治 清様
- 平川 靖幸様
- 佐々木輝義様
- 河原 弘明様
- 東谷 克子様
- 古庫 計子様
- 後藤田 賢様
- 乾 和雄様
- 大久保 愛子様
- 竹田 国利様
- 松田 卓男様
- 荒川 英子様
- 鎌田 信隆様
- 富 弘生様
- 福島 美智代様
- 正木 祐史様
- 上田 恵美様
- 長濱 ひかる様
- 坂東 正文様

木川 美千代様

一村 幸子様

勢登 治義様

中山 善嗣様

村上 司郎様

瀬川 一夫様

鴻田 美代子様

鴨島町身体障害者会様

川島町身体障害者会様

山川町身体障害者会様

賛助会入会のご案内

◆賛助会員年額

個人1口 1,000円

団体1口 10,000円

何口でもお申込みいただけます。

◆会員特典

広報紙「身障とくしま」をお届けします。

ご寄付をいただき
ありがとうございます

四国労働金庫様

森六四国森友会様

森六株式会社有志一同様

阿波総合開発株式会社

徳島カントリー倶楽部様

（本部関係記載）

徳島県肢体不自由児協会
感謝状贈呈

2月7日、徳島県肢体不自由児協会から、肢体不自由児の療育思想の普及に貢献したとして、感謝状の贈呈がありました。



R8.2.7 感謝状贈呈式

小星園 令和7年度「とくしまユニバーサルデザイン」によるまちづくり賞
知事表彰受賞

小星園は、3月10日、設計者 株式会社社宮建築設計とともに「とくしまユニバーサルデザイン」によるまちづくり賞「知事表彰」を受けました。

この賞は、不特定多数の人が利用する医療施設・金融機関などの施設で、障害者、高齢者、子ども、外国人などが利用しやすい「ユニバーサルデザイン」による配慮がなされたものを県が表彰するもので

す。

表彰対象となった障害者支援施設小星園は、①ハード・ソフト両面でのユニバーサルデザインの原則が徹底されていること、②地域に開かれた福祉の拠点施設であること、③支援を行う職員、支援を受ける障害者、双方の身体的・心理的負担を軽減する「天井走行リフト」を設置していることなどが評価されての受賞です。全ての人が暮らしやすい「ユニバーサルデザイン」によるまちづくりの推進に貢献することができました。



「とくしまユニバーサルデザイン」による
まちづくり賞 受賞

令和7年度
徳島県社会参加推進協議会

3月12日、県障がい者交流プラザにおいて、行政機関、障害者関係団体、社会福祉団体の代表者等で構成する令和7年度徳島県社会参加推進協議会が開催されました。

構成団体から令和7年度事業報告及び令和8年度事業予定について報告があり、また、行政機関からは、令和7年度3月の徳島県手話言語条例制定に伴う「手話による県政情報発信事業」として関係機関協力のもと動画が作成され、県障がい者交流プラザ、動画共有サイト、2月にあわぎんホールで開催された「みんなの創造フェスタ」で放映されたことなどが報告されました。また、令和8年度の障がい者社会参加サポート事業について、概要説明があるなど障害者の社会参加に向けて情報交換を行いました。

令和7年度
徳島県身体障害者連合会
運営協議会

令和7年度社会福祉法人徳島県身体障害者連合会運営協議会が3月19日、県障がい者交流プラザにおいて開催されました。最初に市町村身体障害者会の代表者である委員から、活動状況についての報告とともに活動に参加しやすくするための工夫や、会員勧誘についての課題や取り組み状況について意見があり、また、林理事長からは、6月に開催される第71回日本身体障害者福祉大会せんだい大会において、「新時代に向けてー四身連(※)結成と組織改革」と題し、意見交換会で報告を予定している事例の説明がありました。様々な社会情勢の中、身障会の生き残りをかけて挑戦してきた取り組み、「四国都市身体障害者連絡会議の結成」や、県組織においては、県身連に「将来構想検討委員会」を設置し、客観的かつ、公平な運営の改革に取り組んだことが説明されました。さらに、障害種別団体の改革として、県肢体障害者協会の規約改正の取り組みなど

が紹介されました。出席のあった市町村会事務局からの運営面からの提案等の発言があり、市町村身体障害者会の活性化に向けた情報交換の場となりました。
*四国都市身体障害者連絡会議

が紹介されました。出席のあった市町村会事務局からの運営面からの提案等の発言があり、市町村身体障害者会の活性化に向けた情報交換の場となりました。
*四国都市身体障害者連絡会議

障害のある方やご家族に対する相談を受け付けています(無料相談)

◆身体に障害のある方・その家族のお話を傾聴
(障害者サポートダイヤル)
TEL 088-631-6240
FAX 088-631-6211
・毎週月～金曜日(祝日、年末年始除く)
9時から17時

◆専門相談
・法律(相続、金融、財産、人権等)、就労(雇用および勤務条件)、住環境、その他必要な相談に応じます。要申込(徳島県身体障害者連合会まで)
・月1回指定日 10時から正午 1人30分まで

秘密厳守。お気軽にご相談ください。

専門相談の
お知らせ

小児科医の多田羅勝義です。この度、徳島文理大学を退官し、県立障がい者交流プラザにおいて、長年の小児科医としての経験を活かした身体障害(児)者の専門相談を実施することとなりました。日程等については、徳島県身体障害者連合会にお問い合わせください。お気軽にお越しください。
※要予約

行事予定

- ・第71回日本身体障害者福祉大会(せんだい大会)意見交換会・事例発表(令和8年6月17日)大会(令和8年6月18日)
- ・第27回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会(香川県)(令和8年10月8日)
- ・第50回中・四国身体障害者福祉大会(ひろしま大会)(令和8年11月6日)
- ・徳島県身体障害者相談員研修会
- ・令和8年度とくしま健康福祉のつどい(令和8年10月29日)



小星園ひな祭り
記念写真

3月は、ひな祭りを開催しました。小星園入所者皆の健康を願って、お内裏様とお雛様の写真を撮りました。昼食のハンバーガー、ティータイムの甘酒・カッブケーキもとてもおいしかったです。

小星園だより



桜の下で記念写真

眉山園だより

4月2・3日に花見行事で神山森林公園に外出しました。久しぶりの外出行事で、皆さん楽しいひと時を過ごされました。

第71号 2026年4月発行 社会福祉法人 徳島県身体障害者連合会
〒770-0005 徳島市南矢三町2丁目1-59 徳島県立障がい者交流プラザ3F
URL: <https://kenshinren.e-tokusima.or.jp/>
TEL 088-631-6266 FAX 088-631-6211



編集・印刷 社会就労センターかもな 〒770-0045 徳島県徳島市南庄町5丁目77-2
TEL 088-632-0510 FAX 088-632-0520